

夢に逆らう現実

創世記三七章

兄弟はヨセフに言った。「お前が我々を治めるというのか。お前が我々を支配するというのか。」彼らはその夢の話のゆえに、ヨセフを以前にも増して憎むようになった。(8)

ヤコブが溺愛したヨセフがあるとき夢を見ました。十一人の兄弟と両親が彼を拜むという夢でした。これはやがて実現する出来事を主がヨセフに見せてくださったものでした。しかしこれを聞いた兄たちは怒りに燃え、野原でヨセフを捕らえ、エジプトに向かう商人たちに彼を売り渡してしまいます。ヨセフの夢は実現するどころか、それとは正反対の方向に彼の人生は進んでいきます。どんなに辛く苦しい時を過ごしたことでしょう。けれどもこれは彼にとって必要な試練の時でした。「主の言葉が実現する時まで主の仰せが彼を試した」(詩篇一〇五19)。

これによってヨセフはその高慢さがそぎ落とされ、信仰においても人間としても整えられていくのでした。厳しい現実の中にあっても、主の約束の言葉を信じて、これから先の歩みを神の御手にお委ねしようではありませんか。